



2023年2月14日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅
(コード番号 7746 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理本部付 IR 担当部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

2023年3月期業績予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,610	百万円 220	百万円 190	百万円 120	円 銭 5.15
今回予想 (B)	5,100	160	160	100	4.30
増減額 (B-A)	△510	△60	△30	△20	
増減率 (%)	△9.1	△27.3	△15.8	△16.7	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	5,069	225	159	△87	△3.77

修正の理由

【売上高】

供給面からは、改善の方向ながらも一部の海外プロジェクターメーカーにおいて依然半導体不足が続いており、当社主力商品であるフライアイレンズの需要に影響が及んでおります。また、海外での人手不足が洗濯機用ドアガラスの生産に影響しています。

需要面からは、中国経済の停滞による需要減少・生産調整により、当社フリットの需要も前期比で増加傾向にあるものの期初計画に届いておりません。また、従来から取り組んできた耐圧ガラス球の海外向け販売等その他セグメントの進捗が芳しくなく、期初計画から遅れが生じています。

【営業利益】

売上高予想の減少に伴う影響を、円安ドル高による円換算売上単価の上昇、エネルギー価格が期初計画よりも低く推移していること、継続中の固定費の削減努力等による改善効果では十分補い切れない見込みであり、予想営業利益は減少しております。

【経常利益】

予想営業利益の減少に伴い予想経常利益も減少しておりますが、期初計画よりも依然として円安ドル高で推移しているため、下期になり減少しつつあるものの外貨建ての売掛債権等に生じる為替差益を織り込んでいるため、営業利益よりも減少幅が小さくなっております。

以上